

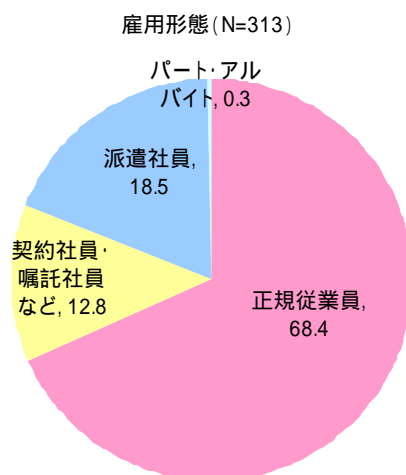
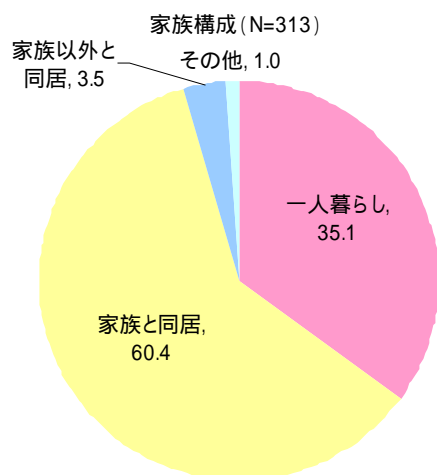
**未婚OLのランチ事情に関する
マーケティングデータ**

朝日大学マーケティング研究所

調査概要

調査方法	Webアンケート
調査期間	2007年4月25日(水)～5月1日(火)
調査対象	首都圏在住の20歳～49歳未婚女性・給与所得者
有効回答	313名

	人数
20代	105
30代	108
40代	100
計	313



1. 未婚OLのランチ事情

普段は社内で、同じ部署の同僚と一緒に昼食を食べている、という人が最も多い

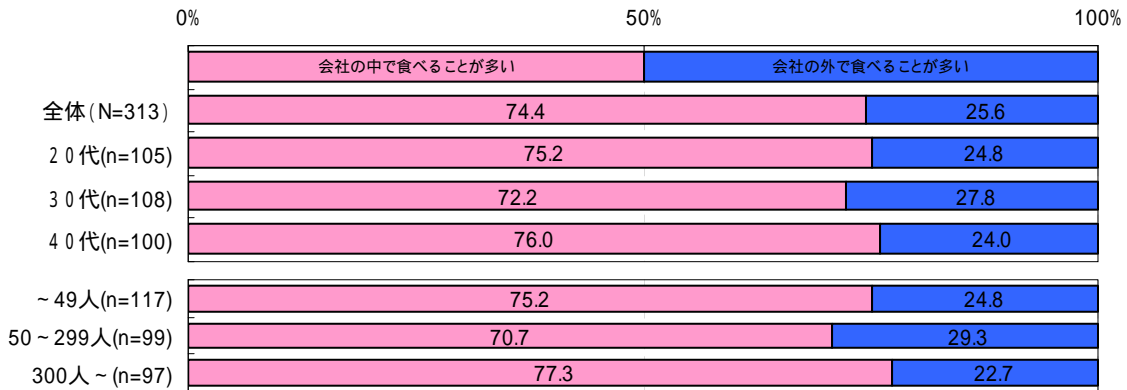
普段の昼休み、昼食は会社の外で食べる社外ランチ派よりも、会社の中で食べる社内ランチ派の方が非常に多く、全体の約4分の3を占める。この傾向は、どの年代でもほぼ変わらない。

会社従業員数別に見ると、従業員が49人以下の小規模なオフィスに勤めている人では、社内に設置されている飲食関係の施設が「ひとつもない」という回答が40%を超えるにも関わらず、社内ランチ派の割合は規模の大きいオフィスと同程度に高い。

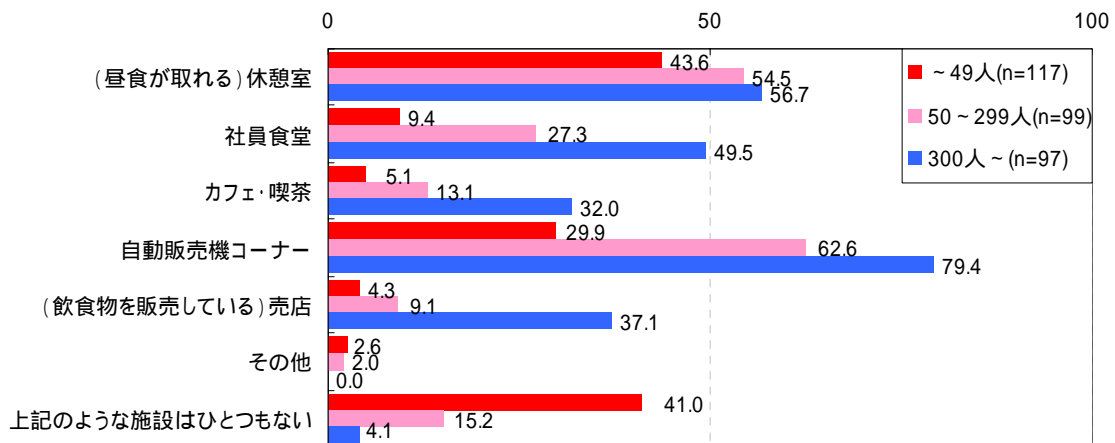
普段昼食を一緒に食べることが多いのは、「同じ部署の同僚」という人が最も多く、半数近くを占める。次いで多いのは「自分一人で」食べる人で、31.9%。30代では、一人で食べる人の割合は4割近くに上っている。

会社従業員数別では、49人以下のオフィスで一人で食べる割合がやや高いが、どの会社でも、同じ部署の同僚と一緒に食べている人が最も多い。

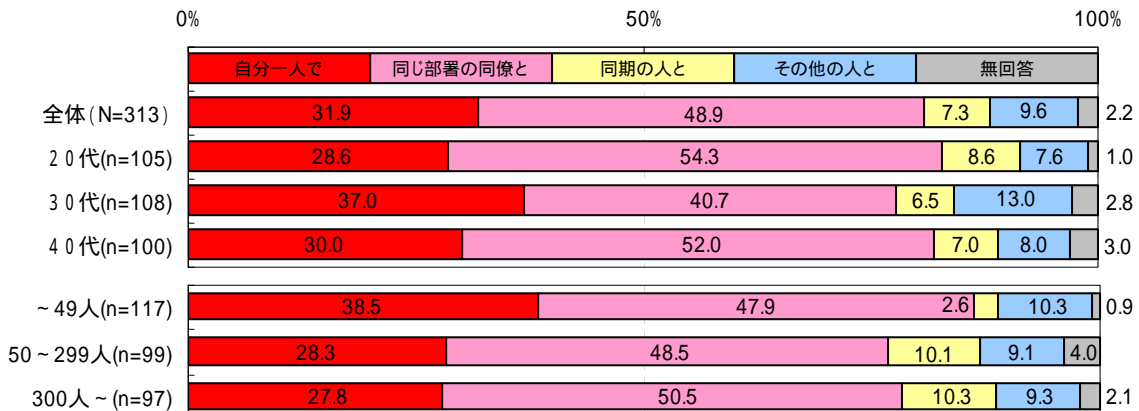
普段、主にどこで昼食を食べているか(年代別、会社従業員数別)



勤め先に設置されている飲食関係の施設(会社従業員数別)



普段、誰と昼食を食べることが多いか(年代別、会社従業員数別)



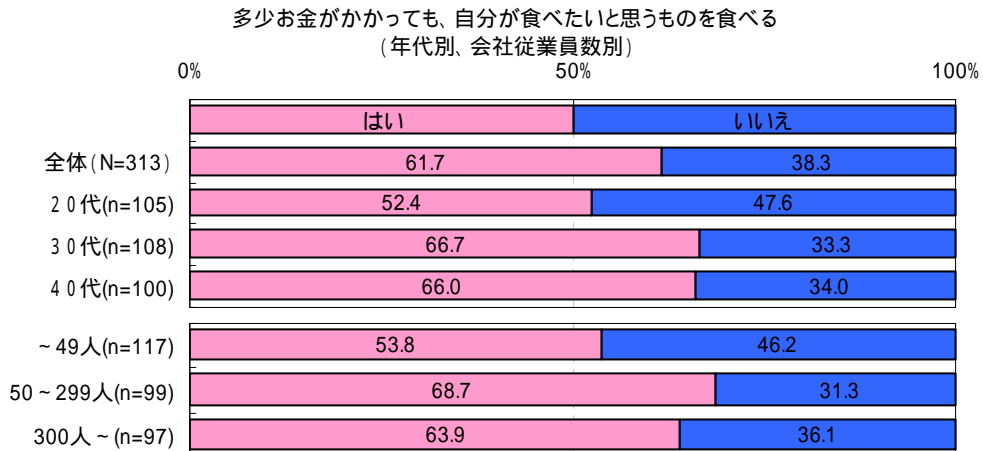
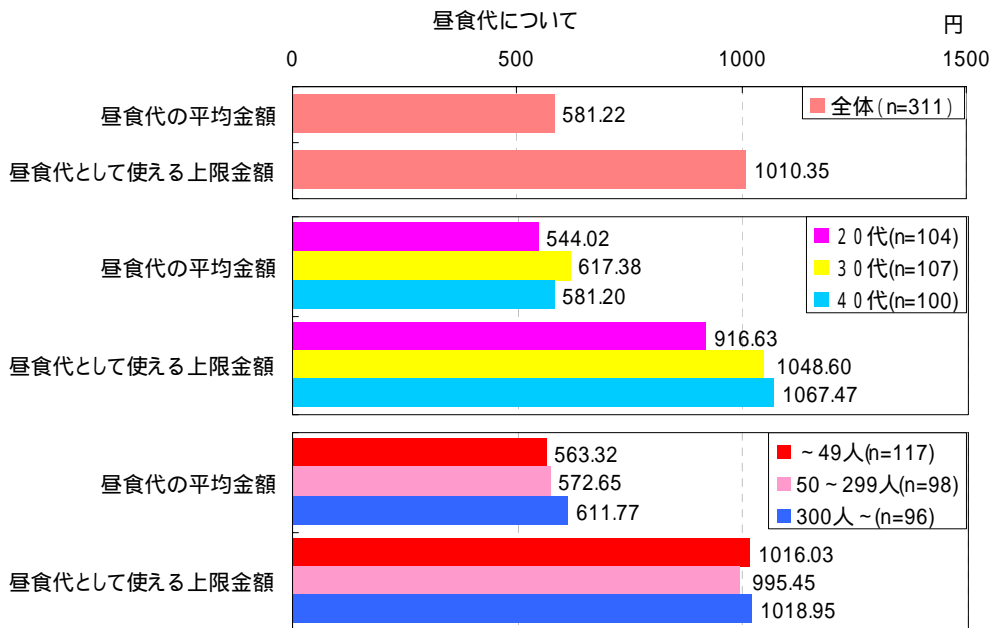
2. 未婚OLのランチ事情

普段のランチの金額は平均581.22円、奮発した時の金額は平均1010.35円、食べたいものがあればお金はあまり惜しまない

普段、昼食代として使っている金額は、全体で平均581.22円。昼食代として使える上限金額は平均1010.35円。年代別にみると、普段の昼食代は30代が平均617.38円と、他の年代に比べて少し高めである。会社従業員数別にみると、人数の多いオフィスになるほど、昼食代の平均額がわずかながら上がっている。

「多少お金がかかっても、自分が食べたいと思うものを食べる」という人は全体の6割を超えている。ランチについてもそのような気持ちでお金をかける人が多いことが、昼食代に使う金額からもうかがえる。

年代別にみると、20代に比べて、30・40代の方が「多少お金がかかっても自分が食べたいものを食べる」という気持ちが強い。会社従業員数別にみると、「多少お金がかかっても、自分が食べたいと思うものを食べる」ということを意識している人がもっとも多いのは50～299人の中規模なオフィスに勤めている人たちで、7割近くに上る。



3. 社内ランチ派の昼休み

社内ランチ派の多くは、自分のデスクや休憩室で昼食を取っている

普段、社内で昼食を取る人の多くは、自分のデスクや休憩室で食べていて(78.5%)、社員食堂やカフェ・喫茶といった社内の飲食店を主に利用する人は20%に満たない。

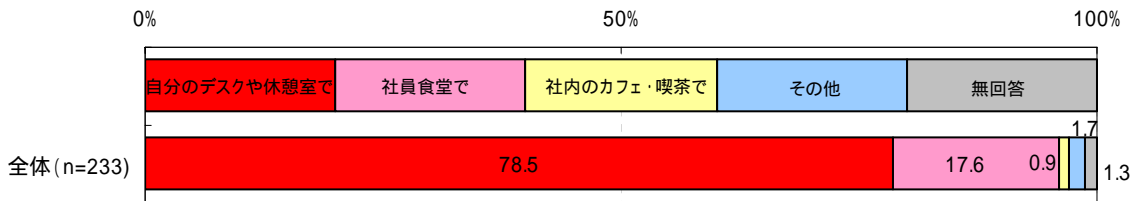
自分のデスクや休憩室で昼食を取る人の中では、普段自宅から持参した弁当を食べている人(49.7%)と、朝や昼にコンビニやスーパー等で買ったものやカフェなどからテイクアウトしたものといった、購入したものを食べている人(13.7 + 29.5 + 3.8 = 47.0%)がほぼ半々である。

普段のランチ代は平均492.68円、上限金額は平均937.65円だった。普段は500円程度で済ませ、出しても1000円以内というのが社内ランチ派の主流の昼食であることがうかがえる。

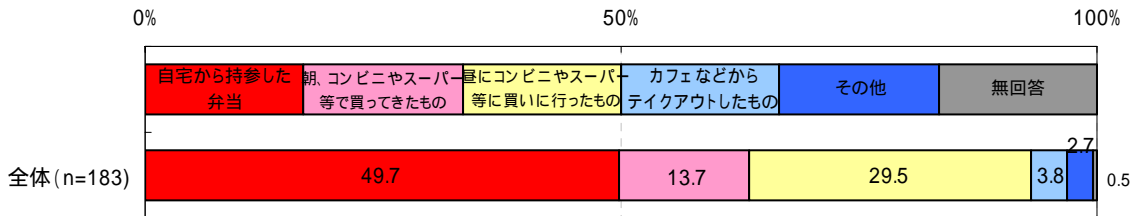
自分のデスクや休憩室で昼食を取る人の中から、自宅から持参した弁当を食べている人を除いたランチ代の平均は576.92円だった。購入したものを社内で食べる人は、普段のランチ代に600円近く使っていることになる。

社内で昼食を食べ終えた後、食後のお茶の時間を取り、コーヒーやお茶などを飲みに行くことがあるという人は4分の1程度である。社員食堂や社内のカフェ・喫茶など、会社の中でお茶する人は15.0% (8.6 + 6.4%)で、会社の外のカフェにわざわざ飲みに行く(8.2%)という人を上回っている。

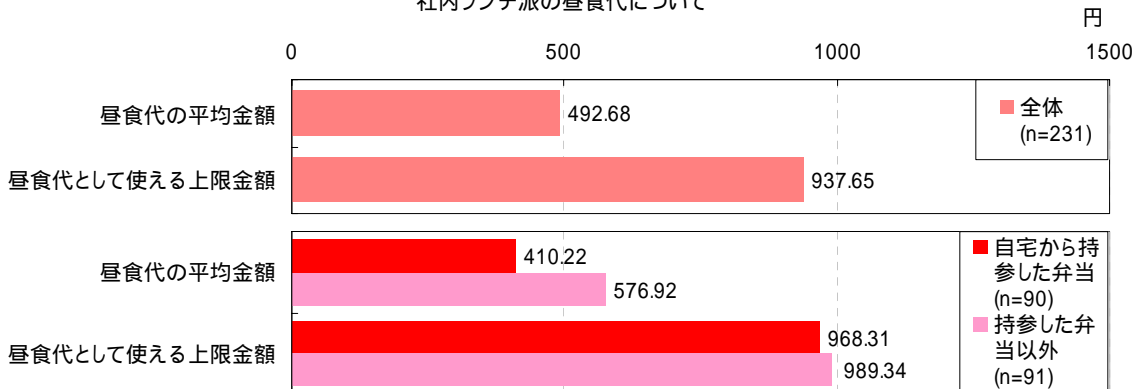
普段、昼食はどこで食べることが多いか(社内)



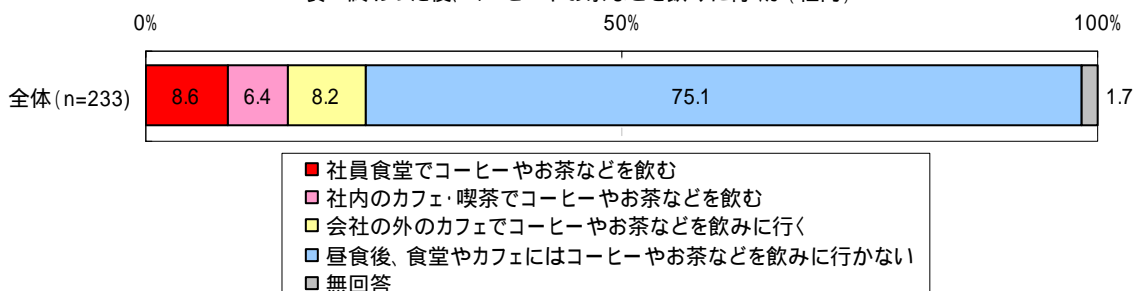
普段、昼食に何を食えることが多いか(社内・自分のデスクや休憩室で食べる人)



社内ランチ派の昼食代について



食べ終わった後、コーヒーやお茶などを飲みに行くか(社内)



4. 社外ランチ派の昼休み

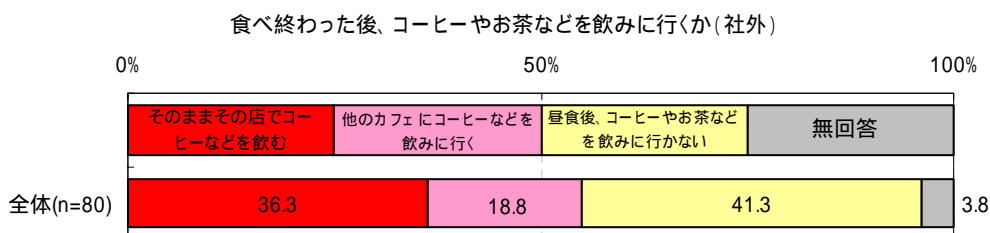
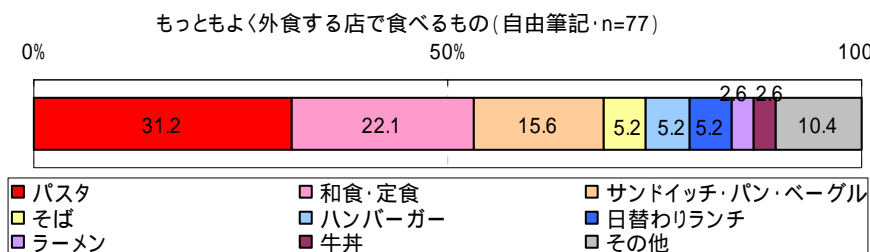
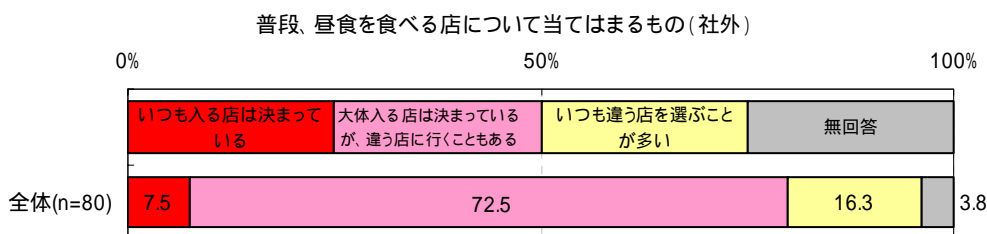
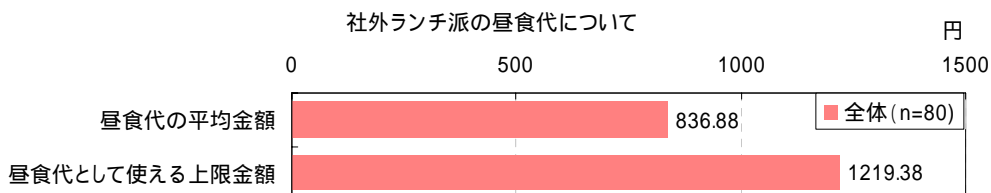
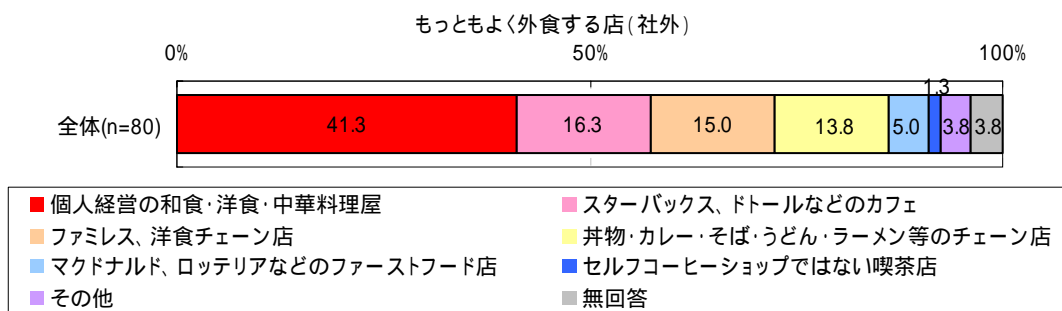
社外ランチ派がよく行くのは個人経営の洋食屋・パスタを食べて、そのままその店でお茶する人が多い

普段社外で昼食を取る人で、よく外食する店は「個人経営の和食・洋食・中華料理屋」という人が最も多く、40%を超える。次いで多いのがスターバックスやドトールなどセルフコーヒーショップのカフェで、16.3%。マクドナルドやロッテリアなどのファーストフード店で昼食を取る人はわずか5.0%だった。

外食が多い人の普段の昼食代は平均836.88円、上限金額は1219.38円。普段のランチの平均金額は、社内ランチ派より350円近く上回っている。

普段昼食を取る店については、「大体入る店は決まっているが、違う店に行くこともある」という人が70%以上を占める。よく食べるものを自由筆記で記入してもらったところ、「パスタ」と回答した人が最も多かった。

昼食を食べ終わった後、コーヒーやお茶などを飲みに行くことがあるという人は半数を超えており、飲みに行かないという人を15%近く上回っている。昼食を食べた店でそのままコーヒーなどを飲むという人が主流だが、わざわざ他のカフェに飲みに行くという人も20%近くいた。



5. 昼休みのカフェ利用について

昼休みはゆったり過ごしたいという人が多く、昼休みにカフェを利用する人は会社の外に出てリフレッシュしたいという気持ち強い

普段社内で昼食後、コーヒーやお茶などを飲みに行くことがある人が食後のお茶にかかる時間は平均20.19分で、昼休みにおいて重要な、食事にかかる時間(平均23.43分)とほとんど変わらない。

また、「昼食に誰かとお茶しながらおしゃべりするのが好きだ」と答えた人は、全体の56.2%と半数を超える。

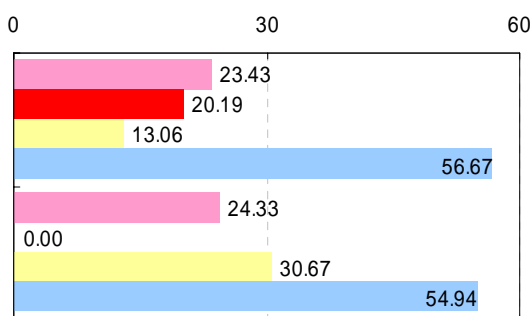
昼休みはどんな気分で過ごしたいか、自由に記述してもらったところ、「のんびりしたい」「ゆっくりしたい」「リラックスしたい」などの意見が非常に多かったことから、食後、コーヒーやお茶を飲む時間をしっかり取って、昼休みをゆっくり過ごしたいと考えていることがうかがえる。

昼休みに、カフェ(スターバックスやドトールなどのセルフコーヒーショップ)を利用する頻度が高い(週2日以上利用している)人の中で、普段の会社でのストレス量が「非常に多い」と回答したのは31.6%と、利用頻度の低い人(週1日以下)や利用しない人に比べて割合が高かった。また、「会社にずっといたくないので、昼休みは必ず社外に出る」と答えた人は約3分の2にも上る。

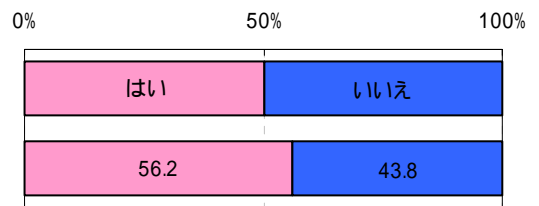
昼休みによくカフェを利用する人ほど、会社で強くストレスを感じている人が多いと考えられる。

昼休みにカフェを利用する頻度が高い人は、休日に利用する頻度も高く、週1回以上(「週3回以上」+「週1~2回」)利用している人が3分の1に達している。それに対して、昼休みのカフェ利用が低い人、または昼休みにはカフェを利用しないという人で、休日に週1回以上カフェを利用する人の割合は、それぞれ14.1%と低かった。

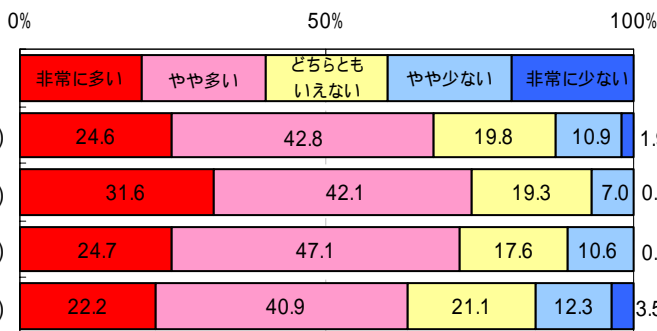
昼休みの時間の内訳(社内ランチ派) 分



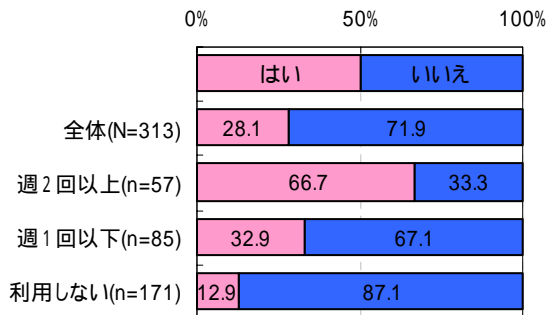
昼食後に誰かとお茶しながらおしゃべりするのが好きだ(N=313)



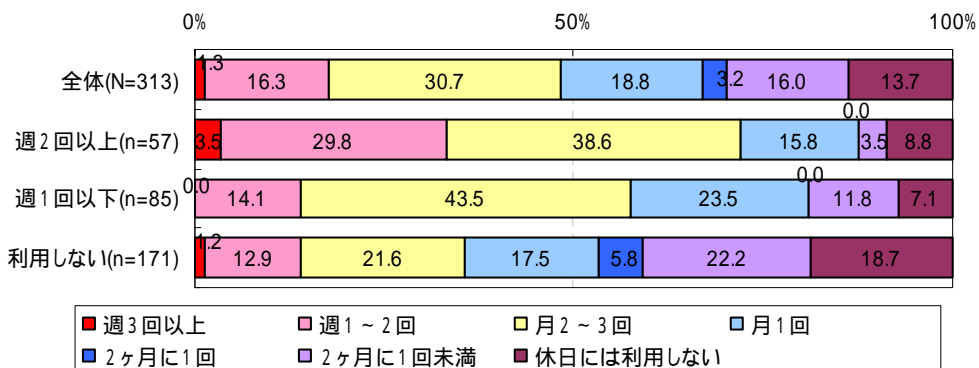
普段の会社でのストレス量(昼休みのカフェ利用頻度別)



会社にずっといたくないので、昼休みは必ず社外に出る(昼休みのカフェ利用頻度別)

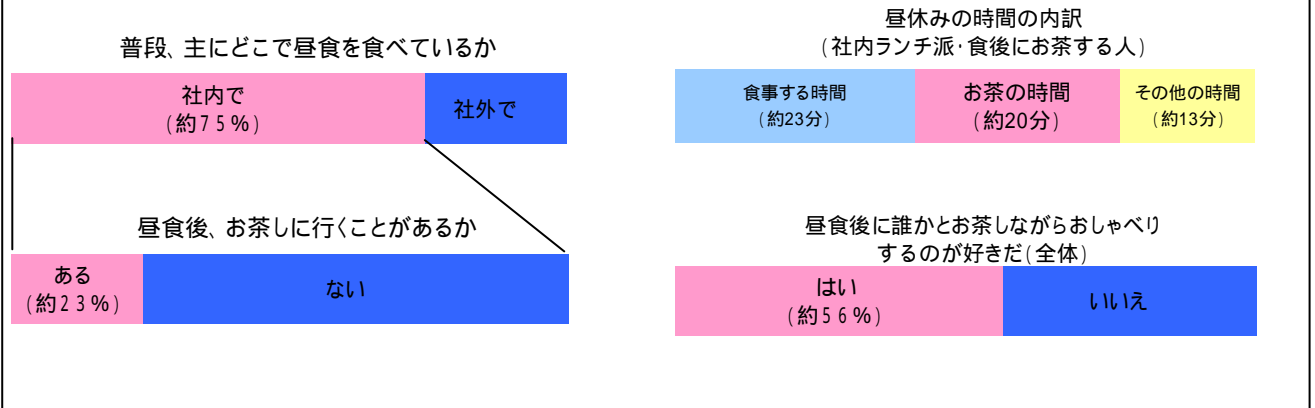


休日にカフェを利用する頻度(昼休みのカフェ利用頻度別)

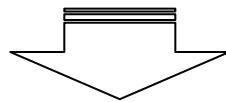


データの総括

未婚OLには社内ランチ派が多く、全体の約4分の3を占める。食後に社員食堂や社内カフェ・喫茶、または社外のカフェにコーヒーやお茶を飲みに行くという人は社内ランチ派の約4分の1。食後にお茶する人は、お茶の時間を食事する時間と同じくらい長く取っている。また、「昼食後に誰かとお茶しながらおしゃべりするのが好きだ」という人は、全体の約56%に上る。昼食後にお茶をしながらリフレッシュしている人が多いことがわかる。



昼休みにカフェを利用する頻度が高い人は、利用頻度が低い人や利用しない人に比べて、普段の会社でのストレス量が「非常に多い」という人の割合が高く、3割を超える。また、「会社にずっといたくないので昼休みは必ず社外に出る」と答えた人は約3分の2に上る。



事実から推測される仮説

食事は社内で済ませる人が圧倒的に多く、しかもそのほとんどが自分のデスクや休憩室である。お昼の時間は外には出ず、自分のデスク周辺で一日を過ごす様子がうかがえる。一方、食事の後、社員食堂やカフェでお茶をしたり、社外にまで出てお茶をしているOLもいる。彼女らは、食事と同程度、お茶の時間を確保しており、ゆっくり過ごしたい、あるいは、同僚とおしゃべりしたいという姿も垣間見られる。

昼休みにカフェを多く利用している人ほど、会社でのストレスが多い。昼休みの束の間ではあるが、会社という空間から脱出したいという人にとって、カフェは緊張感を和らげてくれる憩いの場である。単に、「食後のコーヒー」といった飲用を求めた利用ではなく、ゆっくりとリラックスしたい空間としてのカフェ利用がみとれる。

ランチは、「社内でお弁当を食べ、リラックスのために外のカフェに行く」といったOLもみられ、ランチは手軽に、安く済ませたいという現実的な行動と、「居心地のよいカフェなどで気分転換」という心の癒しを求める行動をうまく使い分けている時間帯である。

トピックスリサーチ

未婚OLのランチ事情に関する
マーケティングデータ

発行日 2007年5月31日

発行・調査分析 朝日大学 マーケティング研究所
〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内3-21-20
朝日丸の内ビル2F
TEL : 052-961-4576

お問い合わせ apost@dance.ocn.ne.jp